

- 問1 日本より2時間遅い標準時を採用している都市を、現地の午後2時50分に出発し、日本まで5時間40分かけて飛行する航空機があります。この航空機が日本に到着したときの日本の時刻として正しいものを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)

1. 22時30分

2. 23時10分

3. 18時30分

4. 20時30分
- 問2 緯線と経線が30度間隔の直角で交わっている世界地図の投影法を想定したとき、本初子午線（経度0度）が通過する地点の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 東南アジアのインドネシア付近を通り、オーストラリア大陸の西部を通過する。

2. 北アメリカ大陸の東部沿岸を通り、南アメリカ大陸の西海岸付近を通過する。

3. ユーラシア大陸の中央部を縦断し、インド洋を越えて南極大陸の東側に到達する。

4. ヨーロッパのイギリス付近を通り、南下してアフリカ大陸西岸沖の大西洋上を通過する。
- 問3 太平洋を囲むように連なり、北米のロッキー山脈や南米のアンデス山脈、そして日本列島などを含む、現在も地震や火山活動が非常に活発な地形のまとまりを何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 環太平洋造山帯

2. アルプス・ヒマラヤ造山帯

3. 安定陸塊

4. 古期造山帯
- 問4 地球儀や世界地図における位置の基準について、イギリスのロンドンにある旧グリニッジ天文台を通り、経度0度と定められている基準の線の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 赤道

2. 本初子午線

3. 日付変更線

4. 北回歸線
- 問5 地球の自転軸に対して垂直な平面が地表面と交わってできる線のうち、緯度0度を示し、かつ全緯線の中で最も長さが長いものを何と呼ぶか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 本初子午線

2. 日付変更線

3. 赤道

4. 北回歸線
- 問6 東アフリカのウガンダのように、国土が海に面していない内陸国において、経済の発展を目指す上で道路の整備が極めて重要視される理由として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 他国との貿易を一切行わず、国内の資源だけで経済を完結させるための自給自足の体制を整える必要があるから。

2. 四方を海に囲まれた島国であるため、国内の主要都市と港を直接結ぶための交通手段を確保する必要があるから。

3. 自国に港を持たないため、隣接する国の港まで製品や資源を運び、海外と輸出入を行う必要があるから。

4. 海に面した広大な海岸線を持っており、各地の港を効率よくつなぐための物流網が必要だから。
- 問7 東京を中心とし、中心からの距離と方位が正しくなるように作られた正距方位図法を想定してください。この地図において、東京から見て右側の円周付近に位置する地点Xの方位として正しいものはどれですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

1. 北

2. 南

3. 西

4. 東
- 問8 環太平洋造山帯に位置する国々において、共通して見られる自然環境やその活用に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)

1. 地殻変動が停止しているため、大規模な地震の対策を行う必要がほとんどない。

2. 長年の浸食によって平原が発達しているため、広大な農地を利用した大規模農業が盛んである。

3. 火山の活動が活発であるため、地熱発電や温泉などが人々の生活に利用されている。

4. 地層が非常に古く安定しているため、大規模な石炭の埋蔵地が各地に広がっている。
- 問9 東アジアに位置するある国は、1人当たりGNIが高い水準にありますが、国土の条件などから穀物生産量は比較的少なくなっています。この特徴に当てはまる国を次の中から選びなさい。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. ブラジル

2. 日本

3. ケニア

4. バングラデシュ
- 問10 緯線と経線が直角に交わり、高緯度ほど面積が拡大して描かれる特徴を持つ地図において、経線が15度間隔で引かれている状況を想定します。この地図上で本初子午線を基準としたとき、各地域の標準時や時差が決まる仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)

1. 高緯度ほど地図上の面積が拡大して描かれるため、高緯度地域の時差は15度よりも広い間隔で計算される。

2. 緯度が15度高くなるごとに、太陽の南中時刻が遅れるため1時間の時差が生じる。

3. 本初子午線から東へ進むほど時刻は遅くなり、日付変更線を越えた瞬間に時刻が最も早くなる。

4. 地球は24時間で360度自転するため、経度が15度異なるごとに1時間の時差が生じる。
- 問11 世界各地の人口密度を視覚的に比較したり、分布の傾向を正しく把握したりするために利用する地図として、最も適した図法はどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)

1. 中心からの距離と方位が正しく表される正距方位図法

2. 地球上の面積の比率が正しく表される正積図法

3. 特定の二点間の最短距離が常に直線で表される図法

4. 角度が正しく表され航海図に適しているメルカトル図法
- 問12 東経135度を標準時とする日本と、西経75度を標準時とする地域との時差を算出する際、その根拠となる計算式として正しい説明はどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 東経と西経の経度の差である60度を、地球が1時間に回転する15度で割る

2. 両地点の緯度の合計である値を、地球が1時間に回転する15度で割る

3. 東経と西経の経度を合計した210度を、地球が1時間に回転する15度で割る

4. 日付変更線を基準とした経度差である150度を、地球が1時間に回転する15度で割る
- 問13 2018年にある島を訪れた観光客の満足度を調査した統計資料によると、出発地域によって満足度に差が見られます。北アメリカ合衆国東部からの来訪者の満足度が89.5、西部が87.2、ヨーロッパ州が86.1、オセアニア州が80.7という数値が示されている場合、この資料から読み取れる内容として正しいものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

1. オセアニア州は、島からの距離が近いため、他のどの地域よりも満足度が高い数値を示している。

2. 観光客の数が多い地域ほど、満足度の数値も比例して高くなる傾向が完全に一致している。

3. ヨーロッパ州からの来訪者は、北アメリカ合衆国西部からの来訪者よりも満足度が高い。

4. 北アメリカ合衆国からの来訪者は、東部・西部ともにヨーロッパ州やオセアニア州からの来訪者よりも満足度が高い。